



▲5月23日・24日に、八千代緑が丘駅周辺で第22回緑が丘ローズハーツふれあいフェスタが開催されました。これは、市の花「バラ」をテーマにした地域交流イベントです。満開のバラが取り囲む会場では、歌やダンスのステージパフォーマンス、子どもバラ絵画展などが行われ、両日で約5,700人が来場しました。

ありがとうございました

本市の計画の一つである「第3期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」推進に向け、東京東信用金庫様から100万円の寄附をいただきました。6月5日、市から同金庫に対し、深い感謝を示し、感謝状と記念品を贈呈しました。

ミニ・ガイド

■**県立八千代特別支援学校高等部販売会「サマーフェスタ」** 同校の高等部生徒が製作した作業製品を販売します。詳しくは学校ホームページをご確認ください。7月3日(金)午前10時～正午、緑が丘西コミュニティスペース(八千代Ⅲ内)。敷地内の駐車場は使用できません。公共交通機関で来場を。同校高等部・鈴木☎450-6321。

■**夏休み親子手話教室** 夏休みに親子で手話を学んでみませんか。小・中学生の親子対象。先着10組。7月26日(日)午後1時30分～3時30分、福祉センター。1人100円。申し込みは、電話かファクスで市身体障害者福祉会きらめき支援センター☎485-8822へ。

■**精神障害者家族「対話の集い」** 精神障害者を身内に持つ家族が、悩みや心配ごとなどについて話し合います。6月25日(木)午後1時30分～4時、プラッツ習志野北館。申し込みは、電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊☎453-6760へ。

■**「ゆるり心の相談室」～身近な方の心の健康や接し方に悩んでいる人のための交流会～** 福祉の専門家(基幹相談支援センターそらの職員)を交えて悩みを分かち合い共に考えます。秘密厳守。7月4日(土)午後1時30分～、八千代台公民館。申し込み・問い合わせは、八千代精神障害者家族会かたくり会☎080-3527-7530へ(ショートメール可)。

榎澤大祐・桃奈選手、空手道全国大会で活躍

6月1日、榎澤大祐選手(八千代台小4年)と榎澤桃奈選手(同小2年)が市役所を訪れ、空手道全国大会の出場報告をしました。

大祐選手は、3つの大会に出場。7年11月開催の「第四回武将杯争奪全日本グランプリ」で優勝、2月開催の「第3回全日本空手道選手権日本武道振興会 CHAMPION CUP2026 決勝大会」で準優勝、3月開催の「第8回ジャパンアスリートカップ」で優勝を果たしました。全国各地での予選大会優勝者のみが出場できる3月の大会での決勝戦では、審判5人全員が大祐選手に旗を上げる形で圧勝し、

見事優勝しました。

桃奈選手は、7年11月開催の「IBKO 第16回全日本空手道選手権大会」に出場し、準優勝を果たしました。



▲左から嶺岸教育長、榎澤大祐選手、榎澤桃奈選手、深井副市長

台湾の小学生が大和田小とみどりが丘小で交流しました

お互いの理解と友情を深めるため、台湾の小学生と教員45人が、5月11日に大和田小、12日にみどりが丘小を訪れ、両校で歓迎式、クラス交流、昼食交流が行われました。

大和田小での歓迎式では、全校児童が台湾の国旗を振って一行を出迎え、記念品交換やお互いにパフォーマンスを披露しました。その後、台湾の小学生たちはグル

ープに分かれて各教室へ行き、けん玉やお手玉など日本の伝統的な遊びやじゃんけん列車ゲームなどを体験しました。また、日本の食文化を感じてもらうため、給食を一緒に食べました。



歓迎式の最後には全員で歌って踊りました

こまの回し方を丁寧に教えながら、一緒に遊びました

市民伝言板 /

●**宝生流東川光夫先生に学ぶお能の世界** 八千代伝統文化親子教室特別講座を一般公開します。6月27日(土)午前10時15分～11時30分、緑が丘公民館。申し込みは、メールに代表の氏名・人数・電話番号を記載して yachiyodontoubunka@gmail.com へ送付。八千代伝統文化普及会・奥山☎090-9014-3181。

●**子どもネット八千代からのお知らせ** ①「あつまれガキ大将の森」自然の中で夏ならではの遊びをしよう! 3歳～小学生の親子対象。先着40人。7月5日(日)午前10時～午後2時30分、ガキ大将の森キャンプ場。3歳以上1人1,200円。②「邦楽のトビラ若き名手が奏でる夕べのひととき」伝統の枠を超えた箏と尺八による、新しい邦楽の演奏会。7月11日(土)午後4時開演、勝田台文化センター。大人3,500円、学生2,500円。③「作ってあそぼう! 子ども夏まつり」午前:団扇づくり、盆踊り、太鼓体験。午後:夏まつりを開催。小学3年生まで

親子参加。8月2日(日)午前10時～午後4時、勝田台文化センター。1人1,000円。①～③いずれも右のコードから団体ホームページより申し込み。子どもネット八千代☎486-4699。

●**ガキ大将の森のキャンプ** 火おこし、飯ごうご飯、野外炊事、工作、森の中で遊びます。市内在住の子どもがいる家族対象。小学4年生以上は子どものみ参加可。7月4日(土)午前10時～午後4時、ガキ大将の森。1人500円。申し込みは右のコードまたはガキ大将の森の会・千葉☎488-2283へ。

リサイクル・ガイド

消費生活センター☎483-1151(代表) 【ゆずります・無料】 ▶裏千家茶道茶箱一式(器据付) 【ゆずって・無料】 ▶ガーデンテーブルセット(木製以外) 上記のほか、市役所1階掲示板・市ホームページでもリサイクル品情報を紹介しています。

短歌

鶴岡 美代子選

沈丁香れば確定申告の時期と知るなり悩ましき日々 (八千代台西) 田崎 木実

格言の「勝ちて奢らず」思うけど死語となりゆくような寂しさ (下市場) 村越喜美子

先月で仕事を辞めし加藤さん春まつりの役手伝いくるる (八千代台東) 伊藤 浩子

冬の日にはベンチに緋の座布団の在りしあの駅廃線となる (八千代台東) 藤井 京子

父の文字残る手帳を捨てられず吾の生日に赤マルのあり (八千代台西) 伊藤 智子

メダリストの受賞の弁はまず感謝苦節むくわれ満面の笑み (村) 上 新井 豊子

拾六年児童守りし黄色旗棺を蓋って永遠の旅立ち (緑が丘) 宮崎 巖

亡き父母のめぐりし札所我も行く願ひも同じ家内安全 (上高野) 垣谷 芳美

選評 一首目、花の沈丁香からは予想もしない確定申告に展開したことで、作品の幅が大きく広がった。軟から硬への展開とも言える。二首目、思い描く人物は読者それぞれと

思う。結句の「寂しさ」は作者が寂しいというのではなく、こういう世情・時代が寂しいということだ。三首目、加藤さんは退職した方が、早速、町の行事に手を貸してくれている。

川柳

八千代川柳連盟選

天国に無事に着いたらラインして 米 本 村石きな子

転職を考えながら入社する 緑が丘 鈴木 照子

記念樹の松の剪定思い切り 高 津 岡田やほこ

病癒え気分良好青い空 萱 田 田中まこと

酪酊の口が勝手に滑り出す 緑が丘 長壁 節子

遺された蔵書に夫の声を聞く 緑が丘西 加茂 英代

子が買ってくれた携帯持て余し 勝田台 塩田 正男

富士山を望める部屋は二割増し 勝田台 古川 大晴

俳句

村上 喜代子選

あの人もこの人も居ず暮れの春 米本団地 拝詞 妙子

たんぼばやおしゃべりの輪の仲間入り 米本団地 唐澤 菊枝

竹竿に靴吊されし蝶の屋 上高野 吉田 一朗

花ぐもりならぶ雪洞川なりに 村上団地 浜西 幸子

捨て舟の泥より伸びる茅花の芽 村上 井上 純子

小学校ありしところを花見かな 勝田台 横尾小夜子